



竜中だより

校訓 自律 協力 創造 勤勉

NO. 3

令和4年5月27日発行



学校ホームページ



<http://ryuyo-j.city-wata.ed.jp/>

躍動の翔竜祭

5月20日(金)、天候にも恵まれ、令和4年度翔竜祭を実施しました。感染症対策により参観を制限させていただきましたが、多くの保護者の皆様が応援に訪れて下さり、大変盛り上がりのある、素晴らしい大会となりました。

「青天の志」のスローガンのもと、生徒は自分の出場する競技や仲間の応援に全力を尽くしたり、係の仕事に責任をもって取り組んだり、3年生を中心に「私たちの翔竜祭を私たちの手で素晴らしいものに」という思いが溢れていました。特に長縄(みんなでジャンプ)では、どの学年も100回を超えるクラスがありました。どのクラスも一丸となって取り組む姿が素晴らしかったです。

これまでの学級練習への取組も含め、この翔竜祭で得たもの、感じたことをこれからの学校生活に繋げ、さらなるクラスの高まり、さらに輝く竜中生の姿を期待したいと思います。以下に結果をお知らせします。

	学年総合			みんなでジャンプ			学年種目		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1年生	2組	1組	4組	2組	1組	3組	2組	4組	3組
2年生	3組	1組		3組	1組		3組	1組	
3年生	2組	1組	4組	2組	1組	3組	2組	4組	3組



校長の話（5月26日 会礼）

先日の翔竜祭では、皆さんが一生懸命に競技する姿や、クラスで団結して記録にチャレンジする姿、仲間を精一杯応援する姿に感動しました。また、役員や係の仕事に奔走する姿も素晴らしかったです。翔竜祭で発揮された皆さんの素晴らしい力が、これからの学校生活の様々な場面で発揮されることを期待しています。

さて、今日は「ノミ」のお話をしたいと思います。ノミというのは犬や猫などのペットなどに寄生することが多い、2mm程度の小さな昆虫です。その、ノミのジャンプ力についてのお話です。

生物は様々な優れた能力をもっていて驚くことがあります。ジャンプ力についてはノミがナンバーワンと言われます。体長の150倍くらいの高さまでジャンプすることができると言われていています。これを人間に当てはめると浜松にあるアクトタワーと同じくらいの高さまでジャンプできることになります。

このノミをコップの中に入れてみます。ノミは優れたジャンプ力で簡単にコップの外に出ることができます。そこでコップに蓋をしてみます。するとノミはジャンプをしてもコップの蓋に当たって外に出られなくなります。そうしたうえでコップの蓋をとると、本来はコップを簡単に飛び越えられるノミが、高くジャンプすることができなくなって、コップから出られなくなってしまうというのです。

さて、私たちにもこれと同じようなことはないでしょうか？

皆さんが何かに挑戦しようとして、何回か失敗してしまうと「自分にはできない」と考えて挑戦することを諦めてしまうといったようなことはなかったでしょうか？あるいは、最初はうまくいっていても、途中でうまくいかなくなると「これ以上は無理」と、挑戦することを止めてしまうというようなことはなかったでしょうか？

皆さんが「自分にはできない」とか「これ以上は無理」といったような気持ちをもつことで、本当は高く跳べる力をもっているのに跳べなくなってしまうノミのように、自分で自分の限界を狭めてしまっているかもしれません。

さて、高くジャンプすることができなくなってしまうノミですが、元のように高く跳べるようになる方法があるそうです。それは高く跳べるノミと一緒にすることだそうです。高くジャンプできるノミと一緒にいることで、元のように高く跳べるようになるのです。

皆さんも同じようなことはありませんか？翔竜祭の「みんなでジャンプ」で100回、200回を超えて跳ぶことができたクラスがありました。100回、200回跳ぶなんて無理と思っていた人もいたかもしれません。一人で跳んでいたなら100回、200回と跳び続けることはできなかったかもしれません。しかし、クラスみんなで跳んでいたことで100回、200回を超えるジャンプができたのではないのでしょうか？

学習でも、行事でも、部活動でも、「自分にはできない」「これ以上は無理」と自分で自分の限界を決めるのではなく、仲間と共に限界を超える挑戦ができる。そんな学校生活をおくることができたら素敵だと思いませんか？

